



明石市立江井島中学校通信

しまっこが宝

令和2年
(2020年)
9月25日
第13号

学校長 植垣 文夫

第42回体育大会が無事に終わりました(2020年9月12日(土))

秋晴れの中、少々気温は高かったですが、予定通り第42回体育大会が始まりました。PTA本部役員のみなさま、青少年補導委員のみなさまの受付支援、巡回パトロールをいただき、開会式前の8:45より吹奏楽部によるオープニングセレモニーが行われました。



サプライズ登場(事前打ち合わせはしていましたが)の3年生の先生方2人がソーシャルディスタンスをしっかりとった中での素晴らしい歌声もミックスされ、大変盛り上がるセレモニーになりました。



開会式から、プログラム1番「全校体操」のラジオ体操第一です。指先まで意識が伝わり、ピーンと伸びていました。

プログラム4番「2学年種目 絆の糸車 回して紡ぐメッセージ」、プログラム5番「生徒会リレー」は、50m走①、50m走②、縄跳び走、綱くぐり、ラケット走①、ラケット走②、ボール挟み走でした。かつては、障害物競走とっていた内容で難易度も高かったです。校長、教頭は体にむち打ってバランスボールを手を使わずに体で挟んで走行しまし

た。結果、無意識のうちに手を使ってしまい、反則でした。反省しています。プログラム6番「3学年種目 Red Spirit 3 無限の可能性」、プログラム7番「江井中リレー」、プログラム8番「1学年種目 紫電一闪 俺のターン サイクロン召喚!!」と続きます。



男女スウェーデンリレーでは、若手の先生方が男子生徒と一緒に力走してくれました。日頃から部活動等で鍛えていらっしゃるからこそその参加、力走でした。



プログラム11番マ스ゲーム「Challenge 私たちの時代を創る」では3年生の息の合ったダンスを見せてくれました。さわやかな中にも各クラスのカラーがにじみ出ていたように思えました。全校生徒の皆さん、感動をありがとうございました。



体育大会の練習中は、雨天・強い日照りに悩まされ、熱中症の心配もありましたが、本番当日は環境省のWBGT指数危険度に達することなく、彼方まで青空が続く秋晴れの運動日和でした。練習時間の少ない中、プログラムの工夫や取組内容の変更などがありましたが、無事に大きな行事を終了することができました。職員一同”大成功”だと思っています。早朝より応援に駆けつけてくださいましたPTA本部役員の皆様、保護者の皆様、青少年補導委員の皆様、そして、地域の皆様、練習期間中は放送機器の使用など、いろいろとご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。そして、あたたかく見守っていただきましたこと、心からお礼申し上げます。ご協力をありがとうございました。